



★10月の部会は、鹿ヶ谷基地の里山のクリやハゼノキ、コシアブラの葉が紅葉し少し枯葉の香り漂う鹿ヶ谷公園の中、10月29、30日に開催の「秋のグリーンフェア」、11月3日の「森の市」への出展作品のクラフト部材製作、道具、絵付けセットなど、備品準備に追われました。また、「太田川学校間交流事業&子ども会交流事業」へのクラフト部材提供を行いました。

メンバーの大半は高齢で多少療養中の方も居られますが、元気に参加して頂いております。10月は「もりメイト倶楽部」が携わるイベントや取り組む事業に、クラフト部メンバーが指導員として参加し、限られた部員での準備に追われました。会員の皆さんには各出展に指導員としての協働をお願いしており、例年300作品程、子供達に指導し森の恵みを楽しんでいただいております。今年も一緒に楽しみましょう。

また、各部会の連携として、里山部会の活動の場である妙國寺において、有志が集い「スクウスクウの森PJ」の納屋の屋根張り替えと薪棚製作を、お寺の改修時の廃材・古材を使い6月より月1回行い、10月の里山部会で完成しました。協働頂いた皆さま有難うございました。薪棚は、地域の防災対策備蓄薪棚に使用されます。

11月はクラフト部の原点に戻り、間伐材を有効利用したクラフトや干支（兎）製作を楽しみたいと思います。



妙國寺屋根吹き替え工事の  
古材・廃材利用薪棚の完成(材料費0!!)



有志一同



部材準備(末本・原島  
・高杉さん)



秋の出展準備に向け  
メンバー打合せの様子



秋が深まり、各地区では秋祭りの最中でしたが14名の参加がありました。

安佐北区三田秋山の妙國寺のご住職から、「畑に植えた里芋を全部鹿に食われた。何とかありませんかね」との相談を受け「鹿除けフェンスを設置しましょう」との提案をした手前、里山部会で対応することとなり、早速取り掛かりました。

この日の作業は、鹿除けフェンス設置(約100m)、駐車場の出入り口のコンクリート壁を削る(はつ)り工事と土木作業が中心となりました。以前、小川フィールドで、地域住民との共同作業による害獣除けフェンスの設置を行った経験を活かし、黙々と作業に取り掛かることができました。

現役時代に土木工事現場監督の経験者で、鉄筋の技能講習を受けたことのある原島さんに、鉄筋とフェンスを結束する時に使う「手ハッカー」の指導をしていただきました。

コンクリート壁の(はつ)り作業ですが、車の出入りに影響を与えない程度に(過去に接触があり)極力少なく(はつ)らせていただきました。これで大丈夫かと思いますが、スクウスクウの森に来られるときの駐車には注意してください。

12時頃から雨が降り出し、昼食をスクウスクウの森の四阿で取りましたが、雨が止む気配がないので早々に後片付け済ませ作業を中止しました。帰りに明野さんから、ネギのお土産をいただき解散となりました。

今回は、11月13日(日)妙國寺で行う予定です。



原島さんによって技術の継承



畑に鹿よけネットを張る